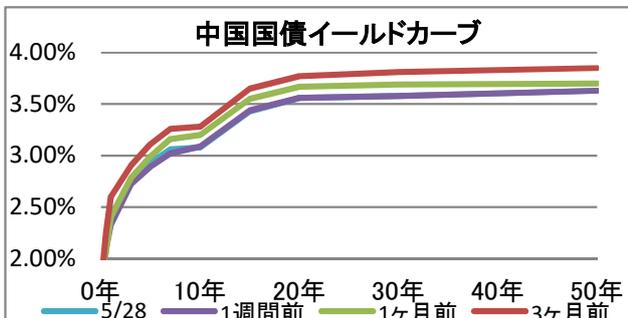
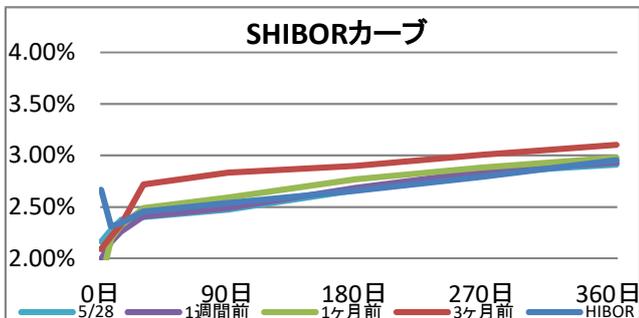


①市場概況

基準レート		2021/5/28	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3858	-0.0442
	JPY/CNY	5.8110	-0.0965
SHIBOR	3M	2.4760%	-0.0130%
国債利回り	10年	3.08%	-0.01%
上海総合指数		3,600.78	+114.22



(1) 概況

ワクチン接種の進展度合いにより景気回復は依然として区々の状況となる中、欧州では株価が過去最高値を更新し、米国では雇用改善や景気回復期待を示す経済指標に加えて6兆ドルとなる2022年予算教書が提出される等、経済回復と積極的な財政政策による経済回復取り組み姿勢も確認されて米国株も下げ止まり、債券利回りも安定した推移となる一方、暗号資産価格は5月中旬の急落後の安値圏での取引が続いている。

中国金融市場は、政府の政策により商品、暗号資産ともに上昇が期待し難く、工業部門利益の減速により金融政策正常化時期後退への期待も高まり、人民元高期待等による国外からの資金流入もあって株高となり、ドル人民元は6.36台に下落し、高値圏にある債券は国債を中心に売られている（利回り上昇）。

米戦略的競争法（4/21上院可決）の下院での決議が近づく中、米中閣僚級通商テレビ会議が開催されて厳しい意見交換があった模様ながら協議継続には合意。中国の金融当局がテンセントに金融持株会社の設立を要求しているとの報道や理財商品販売管理法が施行される等、金融業務の網羅的な監督管理体制の整備が進められている。また、上海市政府はグローバル資産管理センター化の積極的推進に関する意見（目標等）を出している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、リバースオペによる日々100億元の資金供給を継続して500億元を供給している。

(3) 主な経済指標

特になし。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1660%	1.8500%	2.1700%	
1W	2.2780%	2.4000%	2.4400%	2.1700%
2W	2.3760%	2.3700%	2.5000%	2.2200%
1M	2.4040%	2.3500%	2.3800%	2.1800%
3M	2.4760%	4.8000%	2.5000%	2.4600%
6M	2.6630%			2.5800%
9M	2.8340%	3.2000%		2.8200%
12M	2.9120%	3.6000%		2.8850%

月末が近づいているものの、財政支出が予定され、中国人民銀行の市場調節にも変化はなく、資金需給も安定して調達を急ぐ動きもなく、ターム物の調達も限定的となる安定した状況が続き、SHIBORの水準は引き続き緩やかに低下している。ターム物の出合いは1ヶ月が2.30%前後で取引されているのを除き限定的。

NCDも、需給の安定と経済先行き不透明感から緩和的な金融政策が中立に戻される懸念も薄らいでおり、6ヶ月を越える長めの期間を中心に引き続き活発に取引され、金利水準も低位で安定している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.15%を前後、3ヶ月物が2.40%、6ヶ月が2.55%、1年が2.87%にやや低下している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.03%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.25%	0.30%
6M	0.35%	0.40%
12M	0.50%	0.55%

資金需給状況に変化はなくターム物の金利水準は、1ヶ月は0.10%、3ヶ月は0.30%前後で取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.90%	2.03%	2.37%	2.54%	3.07%
6M	2.11%	2.22%	2.54%	2.68%	3.21%
1Y	2.41%	2.42%	2.85%	2.87%	3.43%
3Y	2.76%	3.01%	3.18%	3.34%	4.03%
5Y	2.93%	3.18%	3.45%	3.61%	4.41%
10Y	3.08%	3.41%	3.84%	3.95%	4.77%

債券市場では、前週からの短期資金市場での金利水準の低位安定と国外からの投資資金流入により利回りが低下する流れが続いていたものの、週後半に人民元高や株高が進むと外国投資家の利食いも入り、短期の国債を中心に下落（利回りは上昇）に転じている。

イールドカーブは、国債が短期を中心に中期まで売られたことからベアフラットニングとなったものの、その他の債券は小動きになっており、クレジットスプレッドも国債利回りの上昇により中期までは縮小に転じたものの、長期ではほぼ変化は見られなかった。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.5 / 29.0
1M	129.5 / 130.5
3M	393.0 / 396.0
6M	786.0 / 789.0
9M	1178.0 / 1188.0
12M	1565.0 / 1568.0

対ドル基準レートは、6.3858と前週末比-442pipsのドル安元高、対円基準レートは5.8110と同-965pipsの円安元高と対ドルでは6.4を割り込む水準での設定となった。国内市場でも元高が徐々に進む中で6.4割れが意識されると、大手行のドル買いも聞かれたものの、26日（水）に6.4を割り込むと週末には6.36台まで人民元高が進んでいる。これは中国人民銀行副総裁の人民元は将来的にも市場需給等により上下両方向に変動するとの発言等が当局の人民元高容認姿勢と受け止められたことや、ドル安人民元高期待の高まりによる国外からの資金流入等によるもの。ただし、30日（日）には中国人民銀行の元高官が現在の人民元レートは行き過ぎており持続不能との見解を出している。

先物は、国外からの投資資金流入が続き、人民元金利の低下が一服したこともあり、スワップ幅は1年物が1500台後半での小幅な値動きが続いた。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.35%		2.07%
6M	2.40%	2.62%	2.11%
9M	2.44%	2.72%	2.13%
1Y	2.48%	2.79%	2.17%
3Y	2.71%	3.13%	2.40%
5Y	2.88%	3.38%	
7Y	3.02%	3.56%	
10Y	3.17%	3.74%	

債券利回りが国債を中心に上昇に転じたことからスワップ金利も上昇に転じたものの、上昇幅は限定的に止まっている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、国債利回りが中期までやや大きく上昇したものの、スワップ金利の上昇幅は限定的となっていることから小幅に縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入